

地域自治区 平成30年3月末をもつ

反対13の同数となりました。これにより、地方自治法に基づき議長が採決権を行使、委員長報告を否決とし、地域自治区は平成30年3月31日をもって廃止することに決しました。

今後引き続き同特別委員会は存続させ、奥州市としての真の一体感の醸成に向けた事務事業について、調査・検討を行っていくこととしています。

委員長報告に対する討論

反対 地域自治区を設置した大きな理由は、財政基盤を確立することだった。合併当初の激変緩和や持込み基金の運営管理等のやむを得ない部分があったが、現時点では十分に役割を果たした。今後、市全体の均衡ある発展に向けた施策を進める中では、地域自治区を設置する必要はない。

賛成 住民自治は色々な枠で発露されてしかるべきで多様な形態があつて良い。旧市町村にも様々な意思決定の枠組みがあり、極めて重層的な構造で長い間培われてきた。地区センター単位だけに集約するより、地方自治法を根拠とする地域自治区並びに地域協議会を設置する方が有益である。

反対 地域自治区は合併による激変緩和のために設けられたと理解している。

地域自治区を廃止し様々な課題に奥州市として取り組み、発展のために前に進めるべきだ。また、若者は地域自治区にこだわっていない。市当局は29年度を奥州アピールの年と位置づけしており、若者が大いにアピールしていくためには廃止すべきである。

賛成 地域自治区設置の目的は、激変緩和と新市建設計画のスムーズな履行とともに、均衡ある発展と住民自治の強化である。廃止して一体感を醸成する以上に、一体感を阻害する要素になると思う。自治区を存続させ住民自治を確立し、多様化した住民要望に応えることが、市の発展に繋がると信じる。



定例会最終日に行われた委員長報告に対する起立採決

地域自治区調査特別委員会開催状況

- 平成28年3月24日【第1回】
 - ①正副委員長の互選について
- 平成28年6月7日【第2回】
 - ①自治区廃止または存続（恒久設置）のメリット・デメリットについて
 - ②自治区廃止の場合の経費について
- 平成28年7月19日【第3回】
 - ①先の6月7日に開催した地域自治区調査特別委員会における再質問等について
 - ②各地域協議会との懇談会の開催について
- 平成28年8月24日【第4回】
 - ①地域協議会と議員の懇談会
- 平成28年9月20日【第5回】
 - ①地域自治区廃止に伴うシステム変更経費について
 - ②過日開催した「地域協議会と議員との懇談会」の各班からの報告について
 - ③地域団体と議員の懇談会実施要領案について
 - ④本調査特別委員会の今後の活動等について
- 平成28年10月18日【第6回】
 - ①地域団体と議員の懇談会
- 平成28年11月18日【第7回】
 - ①過日開催した「地域団体と議員の懇談会」の報告について
- 平成28年12月19日【第8回】
 - ①地域自治区存廃に係る議員問討議を行うことについて
 - ②本調査特別委員会の収束時期について
- 平成29年1月18日【第9回】
 - ①議員問討議（グループ討議）の日程、方法について
 - ②グループ討議の報告会及び全体の議員問討議について
- 平成29年1月20日【第10回】
 - ①グループ討議
- 平成29年1月31日【第11回】
 - ①グループ討議の全体報告会
- 平成29年3月21日【第12回】
 - ①議員問討議の方法について
 - ②本特別委員会の継続について
 - ③議員問討議
 - ④本特別委員会として採決